

アルジェリア政治・経済月例報告
(2020年4月)

令和2年5月
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 1日, テブン大統領は残余禁固12か月未満及び18か月未満の刑に服している5037名の受刑者に恩赦を与える旨の大統領令に署名した。
- 2日, ブリダ県の完全封鎖, アルジェ県等9県の一部封鎖を15時~翌朝7時の外出禁止に拡大, 右以外の全県に対し19時~翌朝7時の外出禁止を追加し, 19日まで延長することが決定された。また, 学校及び教育機関の閉鎖も同様に延長された。
- 18日, 現行の封鎖措置を29日まで延長することが決定された。
- 19日, ウアジャウト国民教育相は学校及び教育機関の閉鎖の29日までの延長を発表した。
- 20日, テブン大統領は国家国際協力庁長官にメスバ(Mohamed Chafik MESBAH)氏を任命した。
- フェイクニュース流布の刑罰化等に係る刑法改正案及び差別とヘイトスピーチの予防・対策に係る法案が22日に国民議会において, 23日に国民評議会において採択された。
- 23日, ブリダ県の完全封鎖を14時~翌朝7時の外出禁止に緩和し, アルジェ県等9県の一部封鎖を17時~翌朝7時の外出禁止に緩和することが決定された。
- 23日, ラマダンの開始にあたって, テブン大統領は演説中, 感染蔓延を防ぐために国民に対してより一層の連帯, 規律, 忍耐や警戒を呼び掛けるとともに, 封鎖を長引かせ, 国家や市民を危険に陥れるような予防措置に対する違反行為を行う者に対しこれを控えるよう呼びかけを行った。
- 25日, ジェラド首相は省庁関係部署及び県知事に対して, 経済的・社会的影響を軽減する目的から, 再開する商業活動のセクターの拡大を指示した。
- 27日, 現行の封鎖措置を5月14日まで延長することが決定された。
- 28日, ウアジャウト国民教育相は学校及び教育機関の閉鎖の5月14日までの延長を発表した。

2 外交

- 10日, 中国から医療物資及びコロナウィルス予防物資の第二弾が当国のアルジェ国際空港に到着した。予防物資計30トン, 防護服, 検査キット, 人工呼

吸器がアルジェリア国軍の軍用機2便によって運搬された。

- 16日、ラマムラ元外相は国連事務総長より提案されていたリビア特使への立候補を辞退した。
- 16日、テブン大統領はハマド・カタール首長からの電話を受けた。同首長はコロナウィルス対策としてアルジェリアを支援する用意がある旨伝えた。
- 17日、中国からコロナウィルス予防・対策支援の第三弾がアルジェ国際空港に到着した。支援物資計36トンは主に防護用資機材、検査キットから成り、アルジェリア国軍の空軍機2便によって運ばれた。
- 23日、テブン大統領はサイド・チュニジア大統領からの電話を受けた。両者はコロナウィルスに係る状況につき意見交換するとともに、互いにラマダンの開始を祝った。
- 23日、テブン大統領はエルシーシ・エジプト大統領からの電話を受け、互いにラマダンの開始を祝った。
- 26日、テブン大統領はハマド・カタール首長からの電話を受け、互いにラマダンの開始を祝った。
- 28日、ジェラド首相はファフファーフ・チュニジア首相からの電話を受け、互いにラマダンの開始を祝うとともに、二国間関係の更なる発展の方策につき意見交換した。
- 29日、アルジェリアはコロナウィルス対策に係る医療支援物資をロシアから受領した。
- 30日、ブカドゥム外相は、南ア外相、リビア外相、チュニジア外相、仏外相と、リビア情勢及びコロナウィルスの政治的、経済的影響に関し電話会談を行った。
- 30日、ブカドゥム外相は、アラブ連盟の閣僚級緊急理事会のテレビ電話会議に参加した。同会議ではイスラエルの植民計画を受けてアラブ諸国が取るべき方策につき議論された。

3 治安

- 4日、アルジェ県ブザレア地区で警察官による殺人が発生した。妻と自家用車の中で激しい口論となった警察官が、車両を降りた妻を追いかけ、自宅のあるアパートの階段で自分の子供4人の眼前で業務用拳銃5発を浴びせ殺害した。同人は犯行後直ちに地元警察に自首した。
- 9日付報道によると、4月上旬アルジェ県ゼラルダ地区のホテルからテレビ等の家電、台所用具、寝具などを盗んだ8人グループが逮捕された。被害にあったホテルはコロナ感染者隔離に使われていた施設であった。
- 11日、オラン県において外出禁止令侵犯を教唆し、警察に危害を加えた6人グループが逮捕された。同県東部アイン・エル・ビア地区で8人（17歳から3

6歳で大半が前科持ち)からなる窃盗・押し入り強盗グループが逮捕された。同県中部ビル・エル・ジル地区で不正商行為(価格吊り上げ)のため隠匿されていた小麦粉20トンを発見し押収された。

●30日, アルジェ県バベル・ウェッド地区で外出禁止時間帯に押し入り強盗が発生した。民家に侵入し宝石, 家電, 金銭等を盗んだ4人組(20歳から36歳)が逮捕された。

4 経済

●4日, 租税総局は, 新型コロナウイルスのパンデミックの影響を受ける企業のために, 税務申告(série G n° 50), 総収入税(IRG)及び会社利益税(IFS)の支払い延期, 未納の税金の徴収延期等の一連の税制緩和措置を行う旨発表。

●12日, OPEC+は5月1日から6月末までに970万バレル/日の協調減産に合意したと発表。また, アルカブ・エネルギー相は, 7月1日以降に770万バレル/日の第二段階の減産が本年末まで継続されるべきであるとの見解を表明。なお, アルジェリアの減産規模は, 第一段階が24万バレル/日, 第二段階が19万3千バレル/日になる。

●14日, NAFTAL(国営石油製品販売公社)のシェルドゥード広報部長は, 新型コロナウイルス対策として外出禁止等の措置が執られた3月中旬以降, アルジェリアの石油製品の消費が約50~80%減少しており, 同社の売上も50%近く減少する見込みであると表明。

●14日, 国際通貨基金(IMF)は, 中東及び中央アジア地域の「地域経済見通し」を発表。2019年のアルジェリアのGDP成長率を0.7%と発表。2020年及び2021年の経済予測は概要以下のとおり:

	2020年	2021年
GDP 成長率	-5.2%	+6.2%
対 GDP 比経常収支	▲18.3%	▲17.1%
インフレ率	3.5%	3.7%
失業率	15.1%	13.9%

IMF は同報告書の中で, Covid-19 蔓延の影響による原油価格の下落が石油輸出国の財政収支及び対外収支に負の影響を与える中, アルジェリアを財政の支出圧力の高まりに対する準備金が急速に枯渇しやすい国の一つとして挙げている。また, アルジェリアは, クウェート, カタール, サウジアラビア及びUAEに比して財政的バッファが限られており, 赤字の拡大への適応において不利な国とされ, 国の純債務の総額が2021年の対GDP比で35%を上回る可能性がある」と指摘されている。アルジェリアの2020年のGDP成長率を-5.2%と

予測した理由については、アルジェリアの石油生産能力の低下と輸出市場におけるシェアの縮小を挙げている。なお、IMFは、アルジェリアが財政均衡を回復するために必要な原油価格の水準は80米ドル超と見積もっている。

●15日、ジェラド首相は、政府調達の実行の遅延に係る企業への罰則を一時停止する旨決定。

●16日、ソナトラックは露ザルベジネフチ及びトルコのTPAOとそれぞれMOUを締結したと発表。同社のコミュニケによれば、これら2つの合意により、新炭化水素法公布後のアルジェリアにおける炭化水素の探査、開発、採掘の機会についての協議を開始できるという。

●19日、国家統計局(ONS)は、2019年のアルジェリアのGDP成長率を+0.8%と発表。なお、2019年予算法は、GDP成長率+2.6%を見込んで策定されていた。主な部門別の成長率は以下のとおり：

	2019年	2018年
工業	+4.3%	+4.1%
建築・公共事業・水利：BTPH	+3.6%	+5.2%
農業・林業・漁業	+2.3%	+5%
商業サービス (services marchands)	+3.1%	+3.7%
非商業サービス：不動産取引・金融サービス・行政 (services non marchands)	+1.8%	+2.7%
非炭化水素部門全体	+2.4%	+3.3%
炭化水素	-4.9%	-6.4%

●19日、ソナトラックは米エクソンモービルとアルジェリアにおける炭化水素の探査及び開発の潜在的な機会について協議を開始するためのMOUを締結したと発表。

●22日、ラシッド・ナディル(Racid NADIL)氏が、炭化水素規制庁(ARH)の長官に就任。

●23日、アルカブ・エネルギー相は、ENTVのニュース番組に出演し、前々日にアルジェリア産の原油価格が一時12～14米ドル/バレルに下落したことに言及し、主にハッシ・メサウドで行われているアルジェリアの原油生産価格は約14米ドル/バレルで、現在の20米ドル/バレル前後の原油価格の水準では、約5米ドル/バレルしか利益を生まない旨表明。一方で、同相は、アルジェリアは現在の国際的な原油価格の暴落と経済危機を乗り越えるだけの手段を有していると発言。

- 23日、ヌレディン・ダウディ（Nourredine DAOUDI）氏が国家炭化水素資源活用庁（ALNAFT）の長官に就任。
- 26日、アルカブ・エネルギー相は、現在確認されているアルジェリアの原油埋蔵量を100億バレル相当の1340百万トンと表明。同相によれば、これは現在の生産量ベースで27年分にあたる。
- 26日、関税庁は、本年1月～2月の貿易統計を発表。概要以下のとおり（貿易高の単位：十億ドル、括弧内の数字は前年同期比）：

輸出高	4.9	(-27.89%)
内 炭化水素	4.56	(-28.17%)
炭化水素／輸出全体	93.08%	
輸入高	6.129	(-18.07%)
貿易収支	▲1.23 (79.16%の赤字拡大)	

- 28日、関税庁は、2020年3月までの12か月間の平均インフレ率を1.8%と発表。
- 29日、ジェリデヌ・零細企業・スタートアップ・知識経済相は、生産活動のエコシステム構築を支援するプロジェクトのための新たな投資基金を近々創設する旨発表。

5 日本との関係

特記すべき事項なし。

<アルジェリア要人の外国訪問>

特記すべき事項なし。

<外国要人のアルジェリア訪問>

特記すべき事項なし。

(了)